



北海道七飯養護学校・七飯養護学校おしま学園分校  
コミュニティ・スクール通信

# With

第 15 号(2024 年 NO.1)

令和6年7月26日(金)発行

## 令和6年度コミュニティ・スクールの取組がスタートしました

6月26日(火)に第1回学校運営協議会が開催され、令和6年度北海道七飯養護学校・七飯養護学校おしま学園分校のコミュニティ・スクールの取組が始まりました。本校のコミュニティ・スクールの目的は次の2点です。

- 1 学校と地域がビジョンや課題、情報等を共有し、熟議し、意思を形成させることにより、学校と地域が相互に連携・協働していくための基盤を育む。
- 2 地域との関係を構築し、地域の人材や資源を生かした学校づくりを行うことにより、本校の教育目標の達成に向けた教育活動の質の向上を図る。

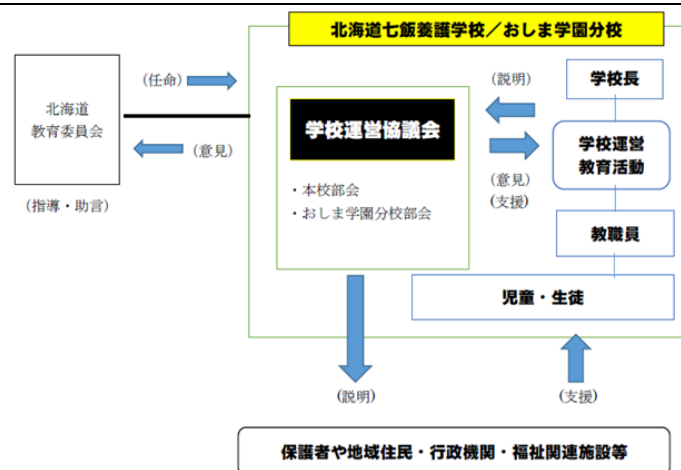
今年で3年目となります。これまでの取組を大切にしつつコミュニティ・スクールの目的を達成できるよう、日々の教育活動に取り組んでまいります。

コミュニティ・スクールの活動は、昨年に引き続きコミュニティ・スクール通信「With」で広くお伝えします。

さて、令和6年度の学校運営協議会の組織は右図のとおりです。学校運営協議会委員は、昨年度から3名が新しい委員となりました。

委員の皆様には、七飯養護学校（以下、本校）部会若しくは七飯養護学校おしま学園分校（以下、分校）部会に所属し、それぞれの学校の教育活動について、様々な立場から熟議し、地域との連携を深めながら充実した教育活動が実施できることを目指しています。今年度の委員の皆様は以下のとおりです。どうぞよろしくお願いします。

〈委員の皆様（敬称省略、部会別50音順）〉



|              |                         |
|--------------|-------------------------|
| 稲垣 明 美（本校部会） | 七飯町商工会理事                |
| 金澤 力（本校部会）   | 七飯町校長会会長                |
| 鎌田 優 子（本校部会） | BPO法人みんなのサポーターわっとな管理責任者 |
| 田中 慎 一（本校部会） | 日本障害者・高齢者生活支援機構理事長      |
| 氷見 陽 市（本校部会） | 七飯町社会福祉協議会法人運営課課長       |
| 広沢 祐 桂（本校部会） | 北海道七飯養護学校PTA（CS担当）      |
| 石岡 正 徳（分校部会） | 石別ふれあう会会長               |
| 加藤 孝 治（分校部会） | 北海道七飯養護学校おしま学園分校PTA会長   |
| 菅原 力（分校部会）   | 石別ふれあう会副会長              |
| 中野 伊知郎（分校部会） | 社会福祉法人侑愛会おしま学園園長        |
| 山崎 久 記（分校部会） | 北斗市教育委員会学校教育課長          |
| 脇 康 幸（分校部会）  | 北斗市経済部観光課長              |
| 北嶋 公 博       | 北海道七飯養護学校校長             |

## 第1回学校運営協議会が開催されました

令和6年6月26日（火）、七飯養護学校体育館において第1回学校運営協議会が開催されました。

今年度の会長として七飯町商工会理事 稲垣 明美 様が、副会長には石別ふれあう会会長 石岡 正徳 様がそれぞれ選出されました。次に、学校経営方針や学校紹介、学校運営協議会に関する説明の後、それぞれの学校の部会に分かれて熟議を行いました。

### 【本校部会の熟議】

熟議テーマ：学校が地域にできること、地域が学校にできること。

本校部会の熟議は、テーマを確認した後、付箋にそれぞれの立場から学校が地域にできることと地域が学校にできることを書いていただき、意見交換しました。

学校が地域にできることの項目では、「老人施設などへの訪問活動（ダンス発表や作品展示、清掃活動）」、「児童生徒の絵などの作品を地域への発信する活動」、「人の役に立つことを実感できる活動」などの意見が出されました。地域が学校にできることの項目では「音楽交流」「障害者スポーツの出前授業」などのアイデアが出ました。

意見交流する中で、保護者を巻き込み、今まで以上に七飯養護学校の児童生徒のことを地域の皆さんに知ってもらえる工夫が必要であるという方向で話がまとまりました。

次回の本校部会は9月24日（火）に行われます。今回は、今回の熟議の結果を踏まえて、今年度取り組む具体的な内容について検討する予定です。



### 【分校部会の熟議】

熟議テーマ：令和5年度の実績を受けて、より充実したコミュニティ・スクールの取組にするためには、どのようなことが必要か。

始めの自己紹介では、おしま学園分校やCSに対する思いをお話いただきました。その後、これまでのCSの取組について共有しました。CSの三つの柱、昨年度のCSで実現した「絵本の読み聞かせ」「道南いさりび鉄道作品展」について、学校と地域の協働活動「Withプロジェクト」について、これまでの分校のCSの取組について、事務局工藤より説明がありました。昨年度の取組の中で、四者合同石別ふれあい大運動会という体育的活動に参加することができたので、次は文化的な活動へ参加をという御意見や、地域の町内会で実施するお祭り行事に参加してはどうかという御意見がありました。時間は長くなく、短い距離でも練り歩いて参加することで、今までにない経験ができるのでは、といった意見がありました。

また、今年度計画しているWithプロジェクトの活動について、北斗市立の小学校で行われている、大学生による楽器の生演奏の鑑賞や、中学校のALTの英語の授業をリモートでつなぐことで生の英語に触れることができる等、様々な情報が出されました。町内会や地域の小中学校で実施されている行事や授業に、分校の児童生徒が無理なく参加できる形で参加してほしい、この地域だからできると思うので、是非、北斗市立と道立の垣根を越えて参加してほしい、そのためにはいくらかでも協力しますという心強いお言葉もいただきました。和やかな雰囲気の中、活発な意見交流が行われました。

次回の分校部会は、9月26日（木）に行われます。今回の熟議の結果を踏まえて、さらに具体的な取組について検討する予定です。





各部会ごとの熟議では、様々な意見を出していただき大変有意義な熟議となりました。今回の熟議で話されたことを基に、今年度のコミュニティ・スクールの取組を充実させていきます。学校運営協議会委員の皆様、お忙しい中、御参集いただきありがとうございました。

## 地域と連携した取組

令和6年度1学期に行なわれた各校の地域と連携した取組についてお知らせします。

### 【本校の取組】

昨年度からCSでの熟議を取り入れて取り組み始めた小学部低学年を対象にした絵本の読み聞かせは、児童と教諭から大変好評で、令和6年度は、1学期から実施しました。

絵本の読み聞かせを行ってくださったのは、七飯町内で長年絵本の読み聞かせを行っている七飯町社会福祉協議会ボランティアサークル「ぴょ〜ん」の皆さんです。

6月24日(月)は小学部1年生と3年生、7月1日(月)は小学部2年生を対象に行いました。

小学部1年生の児童にとっては初めての絵本の読み聞かせでしたが、絵本への興味が高く、前に出て見たり、絵本の動作に合わせてジャンプしたりする児童もいて、楽しい時間を過ごしていました。

2、3年生の児童は、昨年からの活動なので「ぴょ〜ん」の皆さんを覚えていて、最後の挨拶の際、「また来てね。」と手を振っていました。

「ぴょ〜ん」の皆さんありがとうございました。2学期もどうぞよろしくお願いします。



### 【おしま学園分校の取組】



5月25日(土)の四者合同石別ふれあい大運動会に、小中学部の児童生徒が参加しました。地域の皆様が温かく迎え入れてくださり、昨年度から参加しています。

今年度は、より地域の皆様との交流を広げる参加の仕方について、石別小学校や石別中学校、地域の皆様と何度も協議を重ね、

当日を迎えることができました。紅白玉入れは同じルールや用具では実施が難しく、分校独自のルールや用具を使用することの御配慮をいただき、場を共有して一緒に競技することができました。

また、石別小学校や石別中学校の競技に、分校の児童生徒ができる範囲で参加してはどうか、と来年度の参加へ向けての御提案も頂きました。「地域住民の人口減で行事をどう存続していこうかという中、分校の協力がなければ続かない、住民もとても喜んでいる」という感想も頂いています。

運動会当日は、保護者の皆様を始め、来場された多くの皆様の盛大な拍手や応援の中で、児童生徒が徒競走や「いか踊り」を見ていただき、地域の皆様と楽しく交流することができたと同時に、学習の成果を披露することのできる貴重な場となりました。児童生徒が安心して、のびのびと参加することができたことに、多くの方々の御理解と御尽力を賜りましたことに深く感謝いたします。

